

ラオ語のアスペクト

鈴木 玲子

ラオ語はタイ・カダイ諸語南西タイ語群に属する言語で、類型論的には孤立語タイプの言語である。一般にラオ語におけるアスペクトは、必要に応じて動詞句の前後に適切な語を置いて表す。アンケートに従って、以下に言語データを示す。インフォーマントは、ラオスの首都ヴィエンチャン生まれヴィエンチャン育ちで、現在、東京外国語大学大学院博士前期課程に在籍中のラオス留学生、モンベット・カンタウォンサイさん（女性・32歳）にご協力いただいた。なお、ラオ語は個人差が著しい言語であるが、本データは、インフォーマントが一番自然でよく話す形のみを挙げてある。ラオ語文中の（ ）はあってもなくてもよい、という意味である。

- (1) スックさんはもう来た。

súk máa lĕew

スック 来る (完了)

lĕewは一般に動詞句の後に置いて「完了」を表す。動詞として使うときは「終わる」という意味がある。

- (2) スックさんはもう来ている。

例文(1)と同じ表現である。

- (3) スックさんはまだ来ていない。

súk jáp bɔɔ thán dáy máa (thua)

スック まだ (否定) 間に合う 得る 来る (類別詞)

動詞が意志性のある意味を持つ動詞の場合、「～ていない」は、/dáy/ (得る) を動詞の前に置く。一方、意志性のない意味を持つ動詞の場合は、/dáy/は置かない。また、文末の/thua/は回数を表す類別詞である。

(4) スックさんはまだ来ない.

súk páŋ bəw thán máa (thua)

スック まだ (否定) 間に合う 来る (類別詞)

(3)と異なり、いずれの動詞類もその前に/dây/を置くことはない.

(5) スックさんはもう (すぐ) 来る.

súk kâysi? máa lêew

スック もうすぐ 来る (完了)

(6) あっ, スックさんが来た.

?hə súk máa lêew

あっ スック 来る (完了)

?hə súk máa

あっ スック 来る

前者が「来る」ことを予想していた場合で、後者が「来る」ことを予想していなかった場合である.

(7) おととい, スックさんが来たよ.

mûusuwun súk máa

おととい スック 来る

(1)の例文と対比するための単純な過去を表す例文(7)は、動詞の前後に何も置かなくてよい. もし、「来たということを得た」という結果を明示したい場合には、動詞の前に/dây/ (得る) を置く.

(8) おととい, スックさんは来なかった.

mûusuwun súk bəw dâi máa

おととい スック (否定) 得る 来る

(7)の例文と異なり、否定文の場合には、動詞の前に /dây/ (得る) を置くのが普通である. 特にこの例文の場合は「おととい」という過ぎ去った出来事であることを表す語があるので、/dây/ (得る) を置いて「結果として出来事が得られなかった」

という表現をする。

- (9) 私はそのマンゴーをもう食べた。

khòy kǐn màakmuəŋ nân lǎew

私 食べる マンゴー その (完了)

- (10) 私はそのマンゴーをまだ 食べていない／食べない。

khòy náj bəw thán dáy kǐn màakmuəŋ nân (thwa)

/ **bəw thán kǐn màakmuəŋ nân (thwa)**

私 まだ (否定) 間に合う 得る 食べる マンゴー その (類別詞)

/ (否定) 間に合う 食べる マンゴー その (類別詞)

例文(3)と(4)の場合と同様に、「～ていない」の方は動詞の間に/dáy/を置く。

- (11) あの人は今 (ちょうど) そのマンゴーを食べています／食べているところです。

tǎwnnǐi phùunân kǎnláŋ kǐn màakmuəŋ nân yuu

今 人 その (進行) 食べる マンゴー その ている

動作が進行中である場合は、動詞句の前後に/kǎnláŋ ~yuu/を置く。どちらか片方だけでもよい。動詞に前置される /kǎnláŋ/は、動作が進行中であることを明示する。/yuu/は本来、所在を表す動詞「いる・ある」で、この場合は動詞句の後に置いて継続を表すと考えられる。

- (12) 窓が開いている／窓が開いていた。

pəwŋyám pəət yuu

窓 開く ている

- (13) 私は毎朝新聞を読む／読んでいます。

thuksāw khòy ?aan nǎŋsǔwphím/ ?aan nǎŋsǔwphím yuu

毎朝 私 読む 新聞 / 読む 新聞 ている

習慣を明示する形式はない。

(14) あなたは（あなたの）お母さんに似ている。

câw khúuw káp mee (câw)

あなた 似ている に 母 (あなた)

(15) 私はその頃毎日学校へ通っていた。

tǝnnân khòy pǎy hóoghian thukmúuw

その頃 私 行く 学校 毎日

(16) 私は京都に行ったことがある。

khòy kháey pǎy kiawtoo

私 ~したことがある 行く 京都

(17) やっとバスは 走り出した／走り始めた。

náythiisút lotmée ?ǝk lǝw / lǝm ?ǝk lǝw

やっと バス 出る (完了) / 始める 出る (完了)

(18) きのう彼女はずっと寝ていた。

múuwáannii láaw nǝn mót múuw

昨日 彼女 寝る ~中 日

(19) 私はそれをちょっと食べてみた。

khòy lǝŋ kǐn ?ǎnnân nǝynuw (bǝŋ) lǝw

私 試す 食べる それ 少し 見る (完了)

試行的なアスペクト表現は、動詞句の前後に「**lǝŋ ~bǝŋ**」を置く。どちらか片方だけでもよい。**/lǝŋ/**は「試す」、**/bǝŋ/**は「見る」という意味がある。**/lǝw/**はなくてもよいが、ある方がよい。

(20) あの人はそれ(ら)をみんなに分け与えた。

phùu nân beey ?ǎnnân hà y mót thukkhón

人 その 分ける それ 与える 全て みんな

ラオ語には、目的語を2つとる動詞はなく、一つの動詞に一つの目的語を置く表現をする。従って例文(20)も「それを分けてみんなに与えた」という動詞句を2つ並べる形になる。

(21) さあ、(私たちは) 行くよ!

?áw pǎy (lêew) dáy

さあ 行く(完了) よ

/lêew/があると、例えば「もう行かないと間に合わない」などという緊迫性が増す。

(22) 地球は太陽の周りを回っている。

nuaylôok pin ?ôom tǎawén

地球 回る 周り 太陽

恒常性、あるいは真理を明示する形式はない。

(23) あの木は今にも倒れそうだ。

tônmáy nân kùap lôm

木 その ほとんど 倒れる

tônmáy nân kâysi? lôm lêew

木 その もうすぐ 倒れる (完了)

tônmáy nân kǎmláŋ si? lôm

木 その (進行) (未然) 倒れる

「kùap」を使う文は、木が倒れそうだったが、結果として倒れなかった場合で、「kâysi?」や「kǎmláŋ si?」を使う文は、例えば木を伐採しているときなど、結果として倒れると考えられる場合のみに使う。

(24) 私はあやうく転ぶところだった。

khòy kùap lôm

私 ほとんど 倒れる

(25) 明日お客が来るので、パンを買っておく。

múu?uun si? míi khèek máa cuŋ sūu khanǒmpǎŋ wáy

明日 (未然) ある 客 来る ので 買う パン おく

múu?uun khèek si? máa cuŋ sūu khanǒmpǎŋ wáy

明日 客 (未然) 来る ので 買う パン おく

/wáy/は本来、「置く」という意味の動詞である。

(26) 私は京都に行った時、この袋を買った。

tǒn khòy pǎy kiawtoo sūu thǒŋ nīi

時 私 行く 京都 買う 袋 この

(27) 私は京都に行く前に、この袋を買った。

kǒn khòy si? pǎy kiawtoo sūu thǒŋ nīi

前 私 (未然) 行く 京都 買う 袋 この

(28) 私は彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。

khòy hūu waa láaw sūu thǒŋ nīi yuu talàat

私 知る と 彼 買う 袋 この で 市場